

マタイの福音書 第6章 26節

「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。」

感染症のなか、世界は生きる闘いを続けています。医療従事者、介護職、そして他の社会のあらゆる場で生活を可能にする働き手が使命を帯びて、昼夜分かたず、感染の恐れの中かで仕事に励んでいます。少しでも負荷が軽減され、感染症が終息することを願うばかりです。

今までの活動範囲から自制されたせいなのか、青空が遠くまで澄、少し色濃く感じる。初夏の木立の緑が少し深く感られます。鳥の泣き声が遠くまで響くような気がします。その鳥を見なさいと主イエスは語ります。

今まで、空の鳥を見上げる間もなく、目先の現実を追いかけていたのでしょうか。山上の広がりで見なさいと勧めます。見ている者たちに言います。あなたがたの天の父が鳥を養っています。鳥から、山上の者たちに、あなたがたの天の父が、と語ります。私たちの父が鳥を養っています。それを見上げている私たちは、いまここで養われています。だから空と鳥を見えています。